いばらき県議会だより

No.178

茨城県議会 検索 http://www.pref.ibaraki.jp/gikai/
※ホームページでは本会議の様子を生中継及び録画中継しています
県議会携帯サイト http://mobile.pref.ibaraki.jp/?page=3044

発行:茨城県議会　編集:県議会情報委員会
〒310-8555　水戸市笠原町978番6
Tel.(029) 301-5646［年4回発行］

消防出初式のはしご乗り(龍ケ崎市)

復興が進む茨城港常陸那珂港区の日の出（沖合の東防波堤により津波被害が軽減されました）

正副議長就任あいさつ

改革を進め 発展を支える県議会

茨城県議会議長　磯崎　久喜雄

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様には日頃から茨城県議会に対するご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年十二月二十日の第四回定例会におきまして、第百三代議長に就任いたしました。震災からの復興途上のこの時期に、その職責の重大さに身の引き締まる思いであります。

我が国は、バブル崩壊後の経済低迷により、社会の構造が大きく変化しました。さらに、昨年三月の震災と原発事故、欧州経済危機や円高などの影響が本県に及んでおります。

これらの課題に対応し、安全・安心な県民生活を実現していくためには、震災と原発事故からの復旧・復興対策とともに、本県が直面する行政課題や、厳しい財政状況に対処するため、行財政改革に真摯に取り組むことが重要であります。

さらに、本県の交通ネットワークなどの発展基盤を各地域の発展につなげ、地域の活性化を図る必要があります。

そのため、私ども県議会は、「改革を進め発展を支える県議会」をモットーとして、県民の負託に応えるべく、全力を尽くしてまいりますので、皆様のなお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

清々しい平成二十四年の年頭にあたり、皆様のますますのご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

雇用対策などによる 震災からの復興を

茨城県議会副議長　細谷　典幸

皆様方には、健やかに新春をお迎えのことと お慶び申し上げます。

先の第四回定例会におきまして、第百五代副議長に就任いたしました。県勢発展のため、磯崎議長を補佐し、円滑な議会運営に最善の努力をしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

さて、我が国は、少子高齢化の進行などにより、年金や福祉など多くの課題を抱えております。

一方で、我が国の産業は、厳しい経済状況下において、海外需要を取り込み、国内拠点の競争力強化を図るなど積極的な取り組みも行なっております。

このような中で、震災や原発事故による影響は今なお大きく、今後は一刻も早く県民にとって安心な暮らしが取り戻せるよう取り組む必要があります。

また、厳しい経営環境を乗り越え、持続的な回復軌道に乗せるためには、雇用対策を含めた中小企業等の支援強化や農林水産基盤の早期復旧などが必要であります。

今後とも、震災からの復興を成し遂げ、安全・安心で住みやすいいばらきづくりを進めるために、取り組んでまいりますので、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

県民の皆様のますますのご発展、ご活躍を心よりお祈り申し上げ、ご挨拶といたします。

今定例会の概要

平成二十三年第四回定例会は、十二月二日から十二月二十日まで十九日間の会期で開かれました。

議案は、議員から茨城県議会委員会条例の一部を改正する条例など、知事から平成二十三年度茨城県一般会計補正予算などが提出されました。

一般質問は、鹿行大橋の早期完成、茨城空港の利用促進、日野自動車を核とした県西地域の振興、ＢＮＣＴの現状と今後の展開、医師確保対策、国家戦略としてのつくばの活用、健康調査の実施、港湾背後地を守る対策などを質問しました。（二・三面）

各常任委員会は、議案の審議とその他所管事務に関する質疑を行い、復興基金による市町村交付金の配分、冬の節電対策、県立中央病院の産科再開、農林水産物のイメージアップ、災害復旧の執行見通し、自転車の歩道走行規制への対応などを議論しました。（四面）

予算特別委員会は、茨城経済の復興、住宅被災者に対する支援、耕作放棄地対策、県立中央看護専門学校の施設整備方針、大規模災害に備える倉庫などの敷地確保、建設業者へのＢＣＰ導入支援、東海第二原発の再稼働中止と廃炉、放課後児童クラブの開設時間延長、水田農業における担い手や集落営農の育成などの質疑を行いました。（五面）

決算特別委員会は、平成二十二年度茨城県一般会計及び同特別会計歳入歳出決算などの認定について審査しました。（七面）

東日本大震災復興・元気ないばらきづくり調査特別委員会では、復旧・復興に向けた施策の基本方向について、中間報告を行いました。（七面）

今回の定例会では、条例、人事、意見書、請願など四十二件の議案などが可決、同意、認定、承認、採択されました。